



関西国際空港 20周年記念

エア・カナダ 「関西＝バンクーバー線就航 記念パネル展」を開催

2014年11月10日(月)から21日(金)の間、関西国際空港でエア・カナダ 関西＝バンクーバー線就航を記念してパネル展を開催します。ボーイング767-300ER機の写真やカナダの美しい風景写真に加え、バンクーバーを舞台とした映画「バンクーバーの朝日」パネルを展示します。

どちらもカナダ・バンクーバーの魅力が存分に味わえる作品なっていますので、この機会にぜひご覧ください。

○展示内容

エア・カナダ 関西＝バンクーバー線就航記念パネル展
映画「バンクーバーの朝日」公開記念パネル展

○開催日時

2014年11月10日(月)～11月20日(木) 終日

○開催場所

関西国際空港 第1ターミナルビル 2F KIX GALLERY

○主催

新関西国際空港株式会社

○協力

エア・カナダ

○展示例



「エア・カナダ」と「バンクーバーの朝日」について、詳しくは別紙をご覧ください。





【エア・カナダ】



エア・カナダ(AC)は、2015年5月より、関西国際空港とブリティッシュ・コロンビア州のバンクーバー国際空港を結ぶ路線を再開し、直行便を運航することになりました。同路線は、エア・カナダ ルージュのボーイング767-300ER型機にて最大週5便体制で運航し、エコミークラスとプレミアムクラスを提供します。エア・カナダの関西=バンクーバー線は2008年10月に運休して以来、実に約7年ぶりの就航となり、関西空港とカナダを結ぶ唯一の航空会社となります。

同路線は来夏の旅行シーズンを見据えて2015年5月2日から運航予定で(政府認可条件付)、2014年10月22日より販売を開始しました。

【エア・カナダ ルージュについて】

エア・カナダ ルージュはエア・カナダが新たに設立したレジャー航空会社で、エア・カナダ・パッケージズと共にエア・カナダ・レジャー・グループに属しています。ヨーロッパ(エジンバラ、ベネチア、アテネ、リスボン、ダブリン、ニース、バルセロナ、ローマ、マンチェスター)、カリブ(キューバ、コスタリカ、ジャマイカ、ドミニカ共和国)、メキシコ(複数都市)、アメリカへの人気の観光路線において、魅力的なサービスを提供しています。

エア・カナダ ルージュはお客様の旅が思い出深いものになるよう、独自のユニークなブランドでサービスを提供しています。映画や音楽などの機内エンターテインメントをワイヤレスで配信し、ご自身のラップトップやモバイルなどの端末でお楽しみいただける、最新鋭のシステム“プレイヤー”を搭載しています。

電子機器を機内に持ち込まれるお客様が増えていることが示すように、エア・カナダ ルージュのプレイヤーシステムはご好評をいただいております。詳しくは、<http://www.aircanada.com/en/about/rouge.html> をご覧ください。

エア・カナダの完全子会社であるエア・カナダ ルージュは、75年間の安全性・信頼性を誇るエア・カナダと、30年以上の歴史に裏付けられた旅行手配経験を持つエア・カナダ・パッケージズによって支えられています。

詳しくは、www.aircanada.com/rouge またはwww.facebook.com/aircanadarouge をご覧ください。

○ 運航開始日

2015年5月2日(土)～

○ 運航スケジュール

AC1952 便 関西発 16:25 → バンクーバー着 10:00 (月・火・水・木・土の週5便)

AC1951 便 バンクーバー発 12:55 → 関西着 14:55(+1) (月・火・水・金・日の週5便)

※期間により運航曜日が異なることがあります。

○ 機材仕様

型式 ボーイング B767-300ER

※ 当局の認可取得を条件とします。また、スケジュール等は変更となる場合があります。



KIX20th ITM75th



【バンクーバーの朝日】

バンクーバーの朝日

2003年、カナダのトロントにおいて、ある野球チームが最高の名誉であるカナダ野球の殿堂入りを果たした。

そのチームの名は——「バンクーバー朝日」。

戦前のカナダで、差別や貧困と戦いながら、日系移民に勇気と誇り、そして希望を与え、フェアプレーの精神でひたむきに戦い抜き、白人社会からも賞賛と圧倒的な人気を勝ち得た実在の野球チーム“バンクーバー朝日”。

そのチームの記録をもとに、戦前の日系移民の壮大なドラマを描く、映画『バンクーバーの朝日』。

2014年12月20日全国東宝系にてロードショー！

○ストーリー

1900年代初頭、多くの日本人が新天地を夢見て、遥か遠くカナダへと海を渡った。

しかし、そこで彼らを待ち受けていたのは差別、過酷な肉体労働、貧困といった厳しい現実だった—

そんな中、日本人街に一つの野球チームが生まれる。

チームの名は「バンクーバー朝日」。夢も希望も持てなかった激動の時代。

やがてチームは人々にとって、一条の光となっていく。彼らは何を信じ、何を求めて走り続けたのか。

歴史の波間に埋もれていた“真実の物語”が今、ここに蘇る—

○監督：石井裕也

○脚本：奥寺佐渡子

○キャスト：妻夫木聡 亀梨和也 勝地涼 上地雄輔 池松壮亮 高畑充希 宮崎あおい 貫地谷しほり

ユースケ・サンタマリア 本上まなみ 田口トモロヲ 徳井優 大鷹明良 岩松了 大杉漣 鶴見辰吾

光石研 石田えり 佐藤浩市

○配給：東宝株式会社

○バンクーバー朝日

1914年～1941年まで、カナダ・バンクーバーで活動した日系カナダ移民の二世を中心とした野球チーム。地元のアマチュアリーグに参加し、サムライ野球の原点ともいえる盗塁やバント、ヒットエンドランを駆使したスモールベースボールでカナダ人野球チームを打ち破った。1941年の太平洋戦争勃発に伴い、「敵性外国人」となった選手と街の人々は強制移住され、チームは解散。彼らが再び集まることは二度となかった—。

半世紀以上たった、2003年、カナダの移民社会、野球文化への功績が認められ、カナダ野球殿堂入りを果たしている。



(C) 2014「バンクーバーの朝日」製作委員会



KIX20th ITM75th